

平成 24 年度
(財) 日本体操協会 第 2 回理事会 議事録

1.日 時 平成 24 年 10 月 20 日 (土) 13:00～14:40

2.場 所 岸記念体育会館 504・505 号室

3.出席者 理 事 (委任状出席含)

二木会長、塚原副会長、監物副会長、関田副会長、小竹副会長
渡辺専務、荒井常務、荒木常務、遠藤常務、石崎常務、佐久間常務、
立花常務、塚原常務、張西常務、堀 常務、山崎常務、加藤理事、
加納理事、具志堅理事、竹内理事、竹田理事、田坂理事、谷原理事
徳山理事、永田理事、三輪理事、森末理事、吉川理事、渡邊一郎理
事、渡辺栄一理事 (30 名)

監 事 小張監事、鶴見監事、山田監事 (3 名)

その他 事務局長 (1 名)

4.資料の確認

当日資料 ①平成 24 年度第 2 回理事会資料
②平成 24 年度第 2 回理事会次第
③当日差替え資料 平成 25,26 年度・協会役員候補者選考委員会
④当日追加資料 リオ・オリンピック強化本部長選定委員会
⑤当日追加資料 体操 全日本種目別選手権 推薦出場者追加
⑥当日追加資料 2012 日本体操祭

5.権限審査 寄付行為第 6 章第 27 条の定足数の 20 名を超えているので会議は適法に成立した。

6.議長就任 寄付行為第 4 章第 17 条の定めるところにより、二木会長が議長に就任した。

7.議事録署名人の決定

議長は、議場に諮り、議事録署名人として議長並びに渡辺専務理事、遠藤常務理事の 3 名に決定した。

8.発表報告

報告事項・1「第30回オリンピック競技大会（ロンドン/2012）男子体操報告」（ロンドン男子体操競技強化本部） 寄付行為第2章第4条(3)項関連事項

議長の指名により、ロンドン男子体操競技強化本部・立花本部長は表記の件に関し報告した。

＜成績＞ 個人総合：内村航平選手 金メダル
種目別（ゆか）：内村航平選手 銀メダル
団体：銀メダル

団体に金メダル獲得を目標にロンドンに臨んだが、ミスと怪我が発生し残念ながら銀メダルとなった。

今後の活動としては、リオを目指し更なる強化を図っていきたい。

発表報告・2「第30回オリンピック競技大会（ロンドン/2012）女子体操報告」（ロンドン女子体操競技強化本部） 寄付行為第2章第4条(3)項関連事項

議長は欠席のロンドン女子体操競技強化本部・塚原本部長に代わり、渡辺専務理事を指名し表記の件に関し報告した。

＜成績＞ 団体総合：8位入賞
段違い平行棒：鶴見虹子選手 7位入賞

今回のオリンピックは日本女子は団体予選で6位、団体決勝で8位という成績だった。このような結果に終わった理由のひとつは、試合経験の不足。

代表選手の選考方法について成績のみで判断せず、現場の意見も反映させる必要があると思われる。

今後は、他の競技のように、エリートアカデミー導入の方向で検討したらよいと思うと報告した。

発表報告・3「第30回オリンピック競技大会（ロンドン/2012）新体操報告」（ロンドン新体操強化本部） 寄付行為第2章第4条(3)項関連事項

議長は欠席のロンドン新体操強化本部・山崎本部長に代わり、関田副会長を指名し表記の件に関し報告した。

＜成績＞ 団体総合：7位入賞

本大会で7位入賞を果たせたのはイギリス・シェフィールドでロシアチームとの合同合宿を行ったことが、各選手の自信となり12年ぶりの入賞に結び

付いた大きな要因となったことと思われる。

今後の活動に関して、国内でも一定のレベルまでは良いが、更に上を目標とするにはロシアよりの指導、合宿が必要であると考える。

発表報告・4「ロンドンオリンピック「大反省会」進捗状況とリオオリンピックに向けての基本戦略」（専務理事） 寄付行為第2章第4条(3)項関連事項

議長の指名により、渡辺専務理事は表記の件に関し報告した。

1. 大反省会の開催

関係者からのご意見の聴取ならびに協会ホームページにて国民の皆様から広く、多くのご意見を賜った。

（212件のご意見を賜りました。建設的なご意見が多く、批判的なご意見は僅かでした）

2. 今後の予定

多くの意見をまとめ、「問題となっている現象の把握→原因・問題点の把握→課題の抽出」分析・精査のうえ、協会の基本戦略とともに公開をした。

3. 大反省会を踏まえて、2016年リオオリンピックでの協会目標と基本戦略
- 男子体操：団体（金メダル）、個人総合（金メダル）、種目別（金メダル）
- 女子体操：団体（メダル獲得）
- 新体操：団体（メダル獲得）、個人（8位入賞）

基本戦略 男子体操：個人総合&種目別強化

女子体操：種目別強化

新体操：ヨーロッパ基準強化

発表報告・5「公益財団法人評議員選定委員会による評議員選定の報告」（専務理事） 寄付行為第2章第4条(10)項関連事項

議長の指名により、渡辺専務理事は表記の件に関し報告した。

新公益法人の定款に則り、補欠の評議員も決定した。

補欠については、体操関係者および外部見識者は任期途中で欠員が出ても補充しない。

加盟団体と地域ブロックの評議員については欠員が出た場合は、今回提出された第2候補者を欠員時の補欠とする。

発表報告・6「社団法人日本トランポリン協会の編入について」（新公益法人 P/T） 寄付
行為第 2 章第 2 条(10) 項関連事項

議長は欠席の新公益法人 P/T・荒井常務理事に代わり、渡辺専務理事を指名し表記の件に関し報告した。

1. (社) 日本トランポリン協会の解散日は、平成 25 年 3 月 31 日予定。
2. トランポリンは、平成 25 年 4 月 1 日をもって日本体操協会内にて正式に活動を始める。
3. (社) 日本トランポリン協会の基本財産 20 百万円は本協会へ財産譲渡される。
4. 現在のトランポリン協会の平成 24 年度年間収支予算は下記の通りで、組織編入による財政的負担はないと考えられる。

収 入	93,871,900 円
支 出	89,321,380 円
収支差額	4,550,520 円

5. 各地域協会の編入については、中央競技団体が統合したのち、時間をかけて全国の統合を進めて参ります。

<関連質問>・平成 25 年度の収支について問題はないか。

<応 答>・平成 24 年度を踏襲することにより問題ないと思われる。

<関連質問>・強化本部等の設置について

<応 答>・トランポリン強化本部の設置が必要、他の委員会も必要。
完結するには、2 年程度かかると思われる。

発表報告・7「ロンドンオリンピック報告演技会の開催概要について」（専務理事）
寄付行為第 2 章第 4 条(1)項関連事項

議長の指名により、渡辺専務理事は表記の件に関し報告した。

日程	開催会場	出場選手	入場券席種／販売価格	テレビ放映予定局
11月11日 (日) 16:30～	新潟県 リージョンプラザ 上越 3000席	体操男子 体操女子	S席：¥3,000 スタンド席大人：¥2,500 スタンド席小人：¥1,000	NHK 新潟放送局
11月17日 (土) 18:00～	大阪市中央 体育館 6800席	体操男女 新体操団体 トランポリン男子	S席：¥3,500 A席：¥2,500 B席：¥1,500	NHK 大阪で調整中
12月17日 (月) 19:00～	広島 グリーンアリーナ 5200席	体操男女 新体操団体 トランポリン男子	アリーナ席：¥3,500 スタンド大人席：¥2,500 スタンド小人席：¥1,500	HOME 放送
12月19日 (水) 18:00～	北九州市立 総合体育館 3000席	体操男女 新体操団体 トランポリン男子	S席：¥3,500 A席：¥2,500 B席：¥1,500	RKB 放送
12月21日 (金) 18:00～	仙台市体育館 5000席	体操男女 新体操団体 トランポリン男子	アリーナ席：¥3,500 スタンド大人席：¥2,500 スタンド小人席：¥1,500	KHB 放送

収支概算（5地区合計）

収入（チケット販売、広告収入）

47百万円

支出（会場使用料、設営費、運営費、交通費、テレビ放映枠買取料他）47百万円

発表報告・8「国民体育大会（第68回東京大会）における監督代理者の取り扱いについて」（地域委員会）第2章第4条(5)項関連事項

議長の名指により、佐久間委員長は表記の件に関し報告した。

日体協発9月19日付けの文書「国民体育大会における監督への公認スポーツ指導者資格義務付け公認スポーツ指導者資格未保有者の取り扱いについて（通知）」の内容に沿って、第68回国民体育大会（東京大会）の特例について10月19日までに報告するようにとの指示があり、管轄の委員会で検討した結果、次のように取り扱うこととしましたのでご報告いたします。なお、第69回大会以降については必要に応じて日体協国体委員会において協議し決定する予定です。

1. 「監督代理者の取り扱い」について

監督代理者を認める、とする。

理由：既に、本年8月29日付けで「監督としての扱いは公認資格保有していない者（資格未保有者）の参加を認めず、監督は不在として取り扱う。」との取り決めがなされていることから、選手が競技会に参加できなくなることを懸念して。

その他として、ブロック大会における取り扱いについては、基本的には本

大会と同様とする。

2. 国民体育大会における監督への公認スポーツ指導者資格義務付けについて
添付資料： 参考1（平成22年6月18日發文書）
3. 国民体育大会における監督への公認スポーツ指導者資格義務付けに係る対応について添付資料： 参考2（平成24年3月22日發文書）
4. 平成25年度公認資格養成講習会の受講予定者
上記1. の監督代理者を認めることにあたり、本協会は平成25年度公認コーチ養成講習会（専門科目のみ）を体操競技・新体操共に開催することを計画し、本年10月末までに日体協スポーツ指導者育成部と規模等について協議する。

**発表報告・9「女子体操競技指導者マニュアルについて」（コーチ育成委員会）寄付行為
第2章第4条(9)項関連事項**

議長は欠席のコーチ育成委員会・石崎委員長に代わり、渡辺専務理事を指名し表記の件に関し報告した。

1. 作成内容

以前作成し現在在庫切れとなっている本（女子）に新しい部分を加え、改定版を作製する。

※コーチ育成の委員からは上記本は良いものであったという意見が大多数。
しかし、トランポリンやルール変更による部分、また、新技術に加え女子選手特有の内容等を検討し、追加したものを改定版として作成する。

2. 作成委員の選出

編集責任者は行本が行う。本編については各章を女子委員の先生方に担当いただく。

この作業はコーチ育成委員会女子体操競技メンバーを中心とし行うが、強化からも各部分を担当いただける方を人選し依頼する。

撮影・編集等が必要な場合はNTCの使用や研究部にも協力をいただきたい。

3. その他（スケジュールの詳細）

- ・内容検討委員会（8月末までに大まかな内容決定する）
- ・もくじ作成（9月末）

- ・委員に担当分を依頼（9月末～12月末の3ヶ月間）
- ・撮影（10～12月の間で2～3回程度）
- ・校正（平成25年1月10日～2月20日の1ヶ月間）
- ・製本・納品（平成25年3月20日）

発表報告・10「日本体操祭改革案について」（一般体操委員会）寄付行為第2章第4条

(1) 項関連事項

議長の指名により、一般体操委員会・荒木委員長は表記の件に関し報告した。

昨年、二木会長より日本体操祭への改革についての提言を受け、今年度4月より委員会で検討した結果下記のように決定しました。

二木会長の提言：「参加者だけが楽しむ日本体操祭」から「観に来て感動できる日本体操祭」

2012 日本体操祭の参加チーム：143 チーム 参加人数約 5,500 名

＊1 チームの演技時間を4分から3分30秒にしてチーム紹介のアナウンスをカットする。

それにより、大会時間がかかなり短縮される。チーム紹介は大会プログラムに入れる。

＊土曜日・日曜日の演技チーム数を均等にして、その間に“スペシャル・イベント”を盛り込む。大会参加者は各曜日のスペシャル・イベントには全員参加・見学する。両日ともに2,500の参加者と1,500人の観客がスペシャル・イベントに集う予定です。そして、参加者は他のチームの演技も観る事を条件に参加する事とし、代表者に周知徹底しました。

以上のような改革案を、8月26日（日）の代表者会議で詳細に説明し、参加チームの代表者に了解してもらいました。

スペシャル・イベント

＊総司会：森末 慎二氏

＊音楽演奏：村松 健（ピアニスト）富士通やアフラックのCMで、毎日TV放映されている。

＊バトン演技：本庄 千穂（元全日本チャンピオン）＋佐々木 康子（オペラ歌手）

＊信田 美帆が語る、田中理恵の床運動の振り付けについて。（実演も含む）

@24日（土）に可能であれば、フェアリー・ジャパン、田中理恵も参加してもらえれば幸いです。

発表報告・11「平成 24 年度ビジネススクール受講者について」（地域委員会）

寄付行為第 2 章第 4 条(2)項関連事項

議長の指名により、地域委員会・佐久間委員長は表記の件に関し報告した。

地域の活性化を支援する本協会の政策の一つで、毎年、本協会の経費負担にて実施している標記「ビジネススクール派遣」を今年度も実施する計画で、7 月より受講者の募集を行いました。

以下の 7 名が受講を希望致しました。ご報告申し上げます。

【各都道府県協会・連盟からの推薦】

1. 倉田 佳幸氏 大阪体操協会 1982 年 2 月 25 日生まれ（満 30 才）
2. 杉山 晋一氏 京都体操協会 1964 年 10 月 24 日生まれ（満 48 才）
3. 久澄 喜裕氏 福岡県体操協会 1959 年 12 月 6 日生まれ（満 52 歳）
4. 守永 直人氏 社）日本新体操連盟 1978 年 3 月 3 日生まれ（満 34 歳）
5. 遠藤 貴子氏 静岡県体操協会 1982 年 5 月 2 日生まれ（満 30 歳）

【日本体操協会からの推薦】

6. 米田 功氏 1977 年 8 月 20 日生まれ（満 35 才） 米田功体操クラブ代表
7. 水鳥 寿思氏 1980 年 7 月 22 日生まれ（満 32 才） 大阪大谷大学講師

※米田・水鳥両氏は、2004 年アテネオリンピック男子体操団体
金メダリスト

発表報告・12「平成 24 年度スポーツ選手活用体力向上事業予定」（総務委員会）寄付行

為第 2 章第 4 条(4)項関連事項

議長の指名により、総務委員会・遠藤委員長は表記の件に関し報告した。

<講師別派遣回数>

梶谷(5)、森末(5)、渡辺(7)、笹田(6)、水島(7)、池谷(5)、田中(7)、畠田(6)、瀬尾(7)、信田(7)、内山(7)、山田(8)、
米田(7)、中野(8)、溝口(9)、水鳥舞(7)

<派遣場所別回数>

幼稚園・保育園(31)、小学校(69)、中学校(4)、公共施設・グループ(4)

<派遣都道府県別回数>

北海道(1)、岩手県(2)、宮城県(1)、秋田県(1)、福島県(2)、茨城県(3)、栃木県(2)、埼玉県(3)、山梨

県(4)、千葉県(2)、東京都(20)、神奈川県(2)、静岡県(2)、富山県(12)、石川県(2)、福井県(2)、長野県(1)、岐阜県(1)、三重県(1)、京都府(2)、滋賀県(2)、兵庫県(7)、大阪府(5)、奈良県(2)、和歌山県(3)、山口県(1)、島根県(4)、愛媛県(3)、高知県(2)、香川県(1)、徳島県(1)、福岡県(3)、長崎県(1)、大分県(1)、宮崎県(1)、熊本県(1)、鹿児島県(4)

発表報告・13「体操 全日本種目別選手権 推薦出場者追加処置について」（事業委員会）寄付行為第2章第4条(4)項関連事項
議長の名指により、渡辺専務理事は表記の件に関し報告した。

「第66回全日本種目別選手権」大会要項における、男子推薦選手の「推薦申込み期限」の記載について解釈が統一されていないこと(「DVD 提出期限は該当する予選会終了日から2週間以内に提出すること」の「該当する予選会」の対象大会が不明瞭)により、一部に推薦漏れの選手がいることが発覚しました。つきましては下記のように協会ホームページにて公開し対応を致しますので、ご報告申し上げます。

[HP 掲載文書]

「第66回全日本団体・種目別選手権大会」男子種目別推薦選手の追加処置について

「第66回全日本種目別選手権」大会要項における、男子推薦選手の「推薦申込み期限」の記載について解釈が統一されていないこと(「DVD 提出期限は該当する予選会終了日から2週間以内に提出すること」の「該当する予選会」の対象大会が不明瞭)により、一部に推薦漏れの選手がいることが発覚しました。関係者の皆様には深くお詫び申し上げますとともに、以下のとおり出場者を追加受付いたしますのでご対応を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

[追加処置の対象選手]

下記Dスコア以上の演技を行う選手は追加推薦を受けられます。

ゆか 6,5 あん馬 6,4 つり輪 6,2 跳馬 6,4(2本の平均) 平行棒 6,5 鉄棒 7,0

[追加処置の条件]

- ①申告用紙と年度内に撮影された演技のDVD。
- ②本年度開催された下記競技会において実施された演技で、Dスコア認定があったもの。

下記大会においては、Dスコアの記録があるのでDVDの提出は不要。

「全日本個人総合選手権大会」、「NHK杯」、「全日本学生選手権大会(団体・個人総合)」

「東・西日本学生選手権大会」、「全日本ジュニア選手権1部」、「全日本社会人選手権1部」

「国民体育大会」

[追加処置の申込み締切り]

10月27日(土)までに、(財)日本体操協会事務局・八木沢まで資料を提出願います。

9.審議事項

第 1 号議案「平成 25・26 年度・協会役員候補者選考委員会の委員選任について」

(会長) 寄付行為第 4 章第 15 条(1)項関連事項

議長の名指により、渡辺専務理事は表記の件に資資料に添って説明し承認を求めた。

- 1、本協会規定に則り、「役員候補者選考委員会」を設置致します。
- 2、委員会は会長が会長を含め 9 名以内の委員を選考し組織されます。
- 3、「役員候補者選考委員会」は役員候補者を選考し理事会での審議を経たのち評議員会に諮り選任されます。
- 4、平成 25 年度より本協会は新公益法人に移行致しますので理事は 15 名以上 20 名以内、監事 2 名となります。
※現行:(理事)25 名以上 30 名以内、(監事)2 名または 3 名
- 5、平成 25、26 年度・協会役員候補者選考委員会の委員案
学閥の偏りを配慮し人選を行いました。

氏 名	協会役職	出身大学
二木 英徳	会 長	東京大学
滝澤 康二	FIG 副会長	日本体育大学
小竹 英雄	副会長	中京大学
渡辺 守成	専務理事	東海大学
荒井 隆	常務理事	富山商高
遠藤 幸一	常務理事	日本大学
竹田 幸夫	理 事	筑波大学
朝倉 正昭	顧 問	国土館大学

議長は、意見・質問の有無を確認し、議場に諮り第 1 号議案は原案通り承認・可決された。

第 2 号議案「リオ・オリンピック強化本部長選定委員会について」(副会長・監物永三)

寄付行為第 7 章第 34 条関連事項

議長の名指により、渡辺専務理事は表記の件に資資料に添って説明し承認を求めた。

1、リオ・オリンピック強化本部長選定の流れ

平成 24 年 10 月 04 日「第 6 回常務理事会」

リオ・オリンピック強化本部長候補者選定委員会の設置承認

同委員会の人選は、会長、副会長4名、専務理事の計6名

平成 24 年 10 月 20 日「第 2 回理事会」 選定の流れ、選定要領、について検討、了承

平成 24 年 11 月 05 日「第 1 回選定委員会」 候補者の書類審査・選考

平成 24 年 11 月 23 日「第 2 回選定委員会」 候補者の面接審査、候補者の選定（可否の通知）

平成 24 年 11 月 29 日「第 9 回常務理事会」 候補者の審議・承認

平成 24 年 12 月 09 日「第 3 回理事会」 候補者の承認、各部会の部員については会長一任

2、リオ・オリンピック強化本部長候補者の選定要領

1. 強化本部長候補者選定に関する基本的な考え方

- (1) 2016 年リオ・オリンピックでの「協会目標」を達成できる者であること。
- (2) 本会の目的を理解しその達成に向け常に中立的立場で適切に対応できる者であること。
- (3) 体操界に精通し、加盟団体および各所属、等と連携・協力できる者であること。
- (4) 高い倫理観を持ち、人格高潔で心身共に健康な者であること。
- (5) 就任時において、原則満30～56歳未満であること。

2. 選定方法

- (1) 候補者の選定は、第 6 回常務理事会において承認された計 6 名でなるリオ・オリンピック強化本部長候補者選定委員会（以下「委員会」という。）で行う。
- (2) 候補者については、上記「1. 強化本部長候補者選定に関する基本的な考え方」に基づき、強化本部長候補者選定委員会から推薦された者のから委員会にて選出する。

3. 採用条件

- (1) 役員であるので、勤務時間、休暇の定めはない。
- (2) 報酬は、候補者の面接審査時に決定する。
- (3) その他規定等に定めるところによる。

3、財団法人日本体操協会のリオ・オリンピック強化本部長

[人 数] 男子体操強化本部長 1名、 女子体操強化本部長 1名、 新体操強化本部長 1名

[任 期] 平成 24 年 12 月 9 日「第 3 回理事会」～平成 26 年 12 月定時理事会時まで

[職務内容] リオ・オリンピック大会に向けての協会目標の達成

男子体操競技：団体総合（金メダル）、個人総合（金メダル）、種目別（金メダル）獲得

女子体操競技：団体総合（メダル）獲得、個人総合（8位入賞）

新体操：団体総合（メダル）獲得、個人総合（8位入賞）

議長は意見・質問の有無を確認し、議場に諮り第 2 号議案は原案通り承認・可決された。

10.閉 会 議長は議場に審議事項、報告事項、その他事項全部の終了を確認し、14 時

40 分に閉会を宣した。

平成 24 年 10 月 20 日

議事録署名人 二 木 英 徳

議事録署名人 渡 辺 守 成

議事録署名人 遠 藤 幸 一